



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066

東京都新宿区市谷台町 14-5

MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局

電話：03 (3225) 5600

FAX：03 (3354) 0046

URL：<https://www.zennancho.or.jp>

E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

📌 難聴対策推進議員連盟第16回総会

3月3日（金）難聴対策推進議員連盟の第16回総会が対面・オンライン併用で開催され、全難聴から新谷理事長、佐野事務局長、宿谷副理事長がオンラインで参加しました。久しぶりの開催で、上川議連会長、自見事務局長以下の議連関係者に加え、医療関係者・自治体・業界関係者・当事者団体など100名を超える参加者がありました。

議題は

1. 関係府省より報告

①令和5年度難聴関連の予算案について

②”Japan Hearing Vision”提言の進捗について

2. 「難聴を持つ小・中・高校の学校生活で大切なこと（先生編）」

川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 特任教授 假谷 伸先生

3. 新生児聴覚検査の全額公費負担等に関する要望（案）

4. デフリンピック議連の紹介・「難聴万博」ショートムービー賞についてと盛り沢山でしたが、1時間程度の限られた時間で資料を追っていくのに精一杯の総会でした。資料が大部ですので、資料は以下のURLを参照ください。

https://drive.google.com/drive/folders/1Rbg8PsdJRNwV_w_VocWJaPZWNsmWm28F

📌 難聴対策推進議員連盟第17回総会

3月29日難聴対策推進議員連盟の第17回総会が自民党本部で開催され新谷理事長が参加しました。3月3日に続く開催ですが、山東参議院元議長、上川議連会長、自見事務局長以下の議連関係者に加え、医療関係者・自治体・省庁関係者などの参加がありました。今回は、前回から持ち越した「新生児聴覚検査の全額公費負担等に関する要望」を承認した後、自治体より以下の高齢者難聴の取り組みの事例紹介がありました。それぞれ、資料が以下のURLに入っていますのでご覧ください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1cqOpyG2X8fN6y2OYIzFPWgddgONODDXm>

① 山形市「聴こえくつきり事業」 佐藤孝弘 山形市長

② 東京都港区「補聴器助成 港区モデル」 湯川康生 東京都港区保健福祉支援部長

③ 新潟県「新潟プロジェクト」 大滝一 大滝耳鼻科クリニック 院長

そのあと、厚生労働省老健局から「難聴高齢者の早期発見・早期介入に向けた関係者連携に関する取り組み」の報告があり、参加者の意見交換になりました。

自治体の事例は、補聴器購入に関する助成と「難聴と認知症」に関する取り組みが中心でした。また厚労省からの報告は研究事業の紹介のみで現況に対する施策の報告はなく、参加した議員よりは「実証モデルを待たないでも早急に取り組むべき課題は見えている。我が国の補聴器助成の貧しさへの対応が急務ではないか」という発言も出ました。

総会最後に、全難聴の発言機会がありましたので、今年3月に東京都議会に提案されながら否決された「補聴器条例」の例を挙げて、「補聴器普及にとっては障害者総合支援法による補装具制度の充実が求められるが、障害者手帳保持が要件となっているので利用者が限定されている現状がある。これは障害認定と絡む問題で国政レベルでの議論をお願いしたい。一方、医療機器としての補聴器購入への助成は区市町村任せとなっているため、事例

報告にあった東京都港区のような財政事情のよい自治体では助成が進展しているが、財政事情の厳しいところでは助成が進まない。区市町村を超える都道府県や国の施策を併せて考えていくことが急務と思う」と発言しました。会議終了後、発言の趣旨を議連の主要メンバーの大塚議員、宮路議員（いずれも自民党）に改めて国レベルでのバックアップをお願いしました。

📌 リハビリテーション協会理事会開催

リハビリテーション協会の理事会が3月10日（金）開催され新谷理事長が出席しました。議案は

第1号議案 令和4年度補正予算

第2号議案 令和5年度事業計画案

第3号議案 令和5年度事業予算案

で、全議案とも出席議員全員の賛成で承認されました。そのあと、全般的な意見交換となりましたが、新谷理事長よりは、「DAISY(Digital Accessible Information System)開発促進事業」の内容が、文字・画像⇒音声の領域に限定されている、音声⇒文字の領域も積極的に事業領域に加えるべき」と発言し、今後のリハ協の事業領域として検討していくことが確認されました。会議後、君島常務理事より個別に音声⇒文字の領域の課題について相談したいとお話がありました。

📌 視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会(第4回)の開催

3月13日（月）視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会（第4回）がオンラインで開催され、新谷理事長が参加しました。研究会は今回が最後となり、研究会の報告書内容を議論し、細部の字句調整は座長一任で報告書案は承認されました。報告書確定後、放送指針の改定案のパブリックコメントが4月早々には実施される予定です。

📌 中央障害者社会参加推進協議会の開催

3月16日（木）、中央障害者社会参加推進協議会がオンラインで開催され、新谷理事長が参加しました。議事は

（1）令和4年度中央障害者社会参加推進センター活動状況報告及び決算見込み

（2）令和5年度中央障害者社会参加推進センター事業計画案及び予算案

の2件で、事務局提案通り承認されました。そのあと自由意見の交換となり、各団体よりコロナ禍での活動の報告があり、全難聴よりは昨年の大分での福祉大会の開催を報告しました。また、決算報告の監事意見がないことから、協議会の監査体制の不備が議論になりました。

📌 日身連令和 4 年度定時評議員会の開催

3月24日(金)、日身連令和4年度定時評議員会が開催され新谷理事長が参加しました。報告事項の後、

- ① 令和4年度収支補正予算案、②令和5年度事業委計画案、③令和5年度収支予算案、⑤定款の一部改訂の審議があり、いずれも事務局提案通り承認されました。

そのあとの意見交換で、市町村レベル組織の退会の報告、相談員の減少といった課題の報告が相次ぎました。地域組織の現状それを受けての全国団体の役割に議論が毎回の評議員会で繰り返されています。

📌 第2回障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律における協議の場の開催

3月8日(水)標記会議がオンラインで開催され、黒田常務理事が出席しました。Google meet(協議の場)への入室者は、関係省庁や障害当事者団体などから総勢40人近い人数でした。全難聴・全日ろう連さん・情報通信ネットワーク産業協会さんから各15分ずつ、発表がありました。発表原稿は、現時点では部外秘扱いですが、後日、厚労省のHPにアップされるそうです。

厚労省のHPに掲載するにあたり、原稿の中で紹介した企業や行政に、その旨連絡を入れる必要が生じたため、コンタクトをとって確認の上、加除修正(ブルーマーカー)しました。

本会議での質疑応答内容も、HPにアップされるかどうかは不明です。質疑の中で日身連の阿部会長さんが、オンライン会議等における情報保障の必要性を取り上げてくださって、予算不足で公的な場に情報保障を付けられない場合の対処として「文字情報や手話の整備が必要ではないか」とプッシュしてくださいました。

国は、「アプリに情報保障となりえる字幕を落とし込む対策が考えられるが、ノイズの影響とか、アプリの学習データが少ないと認識しづらいなどといった課題がある」と認識しているようです。

また「障害者に役立つ機能をアプリに落とし込んで、それらの性能を活かしきれない高齢者や、機器操作の仕方がわからない人も多い」と。

無人駅やコインパーキングでのコミュニケーション問題や、音声主流のインターネット情報の視覚化など、アプリですべてを解決しようとするのは、技術的には可能であっても、(アプリ機能も操作方法もどんどん進化していくので)それを利用する障害当事者側に、活用する上でのバリアの問題が残されているように感じました。

今回の会議は、聴覚障害がメインでしたが、次回は異なる障害が取りあげられる予定です。

📌 全社協障連協「避難生活における障害のある方の困りごとに関する研究」第2回研究委員会(オンライン)の開催

3月24日(金)13時~15時にオンラインで標記委員会が開催され神矢理事が参加しました。

前半は障連協セミナーが開催され、インクルーシブ防災の専門家である同志社大学の立木茂雄教授による「誰一人取り残さない防災に向けて、福祉関係者が身につけるべきこと」というテーマで講義がなされました。防災の基本的な視点として「災害リスクは社会

的に造られる」ということが話され、ハザード（災害の直接の原因）と社会の脆弱性（障害のある人が置かれている状況）の相互作用が災害の発生につながるとの説明がありました。現状では平時と災害時の担当が福祉と防災のそれぞれで縦割りになっており、解決策としては福祉と防災の担当が一つに集まって（防災と福祉の連結）、平時のケアプランに加えて災害時のケアプランを作成することが挙げられました。

後半は立木先生をオブザーバーに委員会が開催され（19 団体中 2 団体が欠席、2 団体が代理出席）、石橋委員長の司会により「避難生活における障害のある方の困りごとに関する研究」のアンケートシートに関する意見交換がなされました。

障連協事務局から障害特性による困りごとや当事者参加の状況、障害のある方や家族が準備することや行政や地域に準備してほしいこと等を項目ごとに分けた案が出され、神矢理事からは「難聴者は災害初期段階の情報収集で困ることが多い」ことを挙げて、避難生活の内容が幅広い段階ごとに具体的な場面に分けることを提案しました。

📌 JICA 委託事業 ネパール訪問・会議で渡航

ネパール支援には瀬谷常務理事、佐野竜平先生(法政大学)、南由美子国際部副部长、宮本部員の全員が日程を終えて帰国したので、ご報告します。

3月12日(日)午前中トリバン大学教育病院(TUTH) 病院長との会談について SHRUTI 側と打ち合わせ。14時~TUTH 病院長と会談→TUTH 内での意思疎通支援システムの導入や講習会開催について快諾を得る。16時以降 翌日ワークショップを行うことになり、その打ち合わせを行った。

3月13日(月) 10~17時 1 Day workshop (全難聴, SHRUTI, TUTH)

佐野竜平先生より日本の障害者制度について講演され、耳マークやコミュニケーションボード、意思疎通支援マニュアルについて協議した。特に耳マークについて世界共通のマークがあり、これ一つでよいのでは?との意見が TUTH 側よりあり。これに対し、スラッシュマークは世界ろう連盟がネガティブなイメージと捉えて著作権をヨーロッパのマークを標準化する機関に譲った旨と IFHOH がこのマークを支持していないことを説明し、ネパールの風土や環境、習慣に合わせた独自のマークの設定が必要と訴えた。

このワークショップの様子がネパール国営テレビのニュースに掲載された。

<https://www.news24nepal.tv/2023/03/13/931339>

3月14日(火) 11時~12時半 保健人口省管轄の健康支援センター訪問→難聴者への支援を訴え。午後、意思疎通支援マニュアルの内容の変更について協議した。マニュアルとコミュニケーションボードを連結させる。つまり、ボードにチェックシートや指差しシートを加えて、マニュアルと連携させることで支援効率を高める方向で行くことになった。

3月15日(水) SHRUTI 主要メンバーが都合により不在のため、全難聴内部ミーティングとし、17日の JICA ネパール事務所への報告に備え、プロジェクト進捗状況の数値化等について検討した。

3月16日(木) 今後のプロジェクト進行について SHRUTI と協議した。6月にはマニュアル等完成し、7月以降から TUTH 内で講習会を行うこと、来年は TUTH 以外の複数の病院で意思疎通支援について講習会を行うことを確認した。合わせて支援金額の振り込みについても確認した。

3月17日(金) 15時より JICA ネパール事務所で面談。SHRUTI メンバー1名同席のもとでプロジェクト進捗状況を説明した。SHRUTI から要請があった難聴体験用機器の提供について JICA より恒久的に使用されることが確実なため、提供可との返事をいただいたため、今後選定を検討していく。マニュアルの著作権について、SHRUTI、全難聴、JICA との助言をいただいた。以上の日程を終え、各人帰途についた。

↑ 理事の動き (3/1~3/31)

- 3月 3日 障害者等の避難誘導ガイドライン作成に向けた検討会（案）の開催に向けた
意見交換会（オンライン）（神矢）
- 3月 3日 令和4年度 ニーズ・シーズマッチング強化事業
第2回 交流会企画委員会（オンライン）（小川）
- 3月 8日 第2回障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に
関する法律における協議の場（オンライン）（黒田）
- 3月 9日 JIS X 8341-4 改正原案作成委員会（オンライン）（小川）
- 3月 10日 日本身体障害者リハビリテーション協会 3月理事会（新谷）
- 3月 11日 厚生労働省障害者自立支援機器イノベーション人材育成事業インタビュー（小川）
- 3月 12日~19日 JICA 助成金事業 ネパール訪問・会議（瀬谷）
- 3月 13日 「視聴覚障害者等向け放送の充実に関する研究会」第4回（オンライン）
（新谷）
- 3月 13日 第4回 ICT サポートシンポジウム（オンライン）（小川）
- 3月 16日 中央障害者社会参加推進協議会（オンライン）（新谷）
- 3月 18日 WAM 助成金事業 全要研「災害時における中途失聴・難聴者への通訳&支
援体制構築事業」報告会（オンライン）（新谷、佐野、湯浅、小川、神矢）
- 3月 19日 全国手話研修センター創立20周年記念式典（橋本）
- 3月 23日 JDF 幹事会（ハイブリッド）（佐野）
- 3月 24日 全社協令和4年度(第2回)障連協セミナー（オンライン）（神矢）
- 3月 24日 全社協障連協「避難生活における障害のある方の困りごとに関する研究」
第2回研究委員会（オンライン）（神矢）
- 3月 24日 日身連第2回定時評議員会（オンライン）（新谷）
- 3月 25日 厚生労働省委託 補聴器販売者の技能向上研修等事業企画推進委員会
（オンライン）（宿谷）
- 3月 28日 第9回 移動等円滑化評価会議（オンライン）（小川）
- 3月 30日 障害者放送協議会（放送・通信バリアフリー委員会（拡大））（オンライン）
（新谷・小川）
- 3月 31日 第2回 DINF 運営委員会（オンライン）（小川）

↑ 4月の予定

- 4月 3日 情報コミュニケーション4団体連絡会（オンライン・対面）
- 4月 4日 字幕付き電話サービスレビュー 対面開催
- 4月 14日 【秩父宮・UD】第2回 UDWS
- 4月 21日 障害児者の情報コミュニケーション推進に関する議員連盟総会

《今後の予定》

- 5月理事会 5月21日 オンラインによる開催予定
- 6月総会 6月17日 対面にて東京都内で開催予定